



## もも 桃の節句にモモが咲く？

3月3日はひな祭りです。最近では五人囃子や三人官女もしたがえた7段のひな壇を出す家庭は少ないのかも知れませんが、どんな小さなおひな様でもかざられているのを目にするのは、春を近く感じてわくわくします。

3月3日は旧暦では4月初旬にあたり、関東地方以南ではちょうどモモが咲く季節です。そのため、ひな祭りは「桃の節句」ともいいます。といっても、北海道では3月～4月はまだ雪が残り、例年はモモどころかウメやサクラもまだ咲きません。北海道にサクラ前線がたどり着くのはゴールデンウィーク前後です。その頃にはお花見という一大イベントに備え、レジャー情報としてウメやサクラが「咲いた、咲かない」「五分咲なのか、八分咲なのか」が新聞やテレビでもとりあげられますが、モモの花への注目度はどうでしょうか？ 花の形や色はサクラやウメに似ているのに、花より団子なのか、注目はモモの果実のほうに集中します。特に北海道ではモモの栽培が少なく、果樹園が多い札幌市南区でさえ、モモを売りにしているのは1軒だけです。モモの花（下図）を見たことがない人が多くてもしかたありません。

この冬は記録的な暖冬で、流水が少なかったり、東京では雪が積もらなかったり、日本だけではなく世界各地で“季節を先取りした”自然現象が起きています。日本独特の風景と日本人の感性を育ててきた、はっきりした四季の移り変わりが消えていくような恐怖を感じます。

このままでは北海道でも桃の節句にモモが咲くかもしれない！とさえ思えてきます。そのようなことにならないように祈りますが、気候変化に敏感に反応する植物や動物の動きをジッと観察することから大きな変化の前兆を見逃さないようにしたいものです。（山崎）



モモの花（イラスト：山崎真実）

### モモ *Prunus persica* (バラ科)

中国原産。

- ・人間に利用されてきた歴史は長く、中国では4000年以上前から栽培。日本では弥生時代の遺跡からも種子（核）が出土。
- ・魔よけの作用や、果実は不老長寿をもたらすと信じられていました。
- ・スモモ亜属 *Prunus* ではなく、モモ亜属 *Amygdalus* とする研究者もいます。

### ひな祭り【桃の節句】

今は女児の行事とされますが、もともとはモモの花が邪気をはらい、顔をよくする作用があるとされたことから、女児、男児関わらず子の健康を願う行事でした。

### 「西遊記」で孫悟空がぬすみ食したモモは？

蟠桃（ばんとう）とされています。日本ではあまり生産されませんが、味の良さが注目されています。



他に、八重咲きなど花を楽しむためのさまざまな園芸品種がつけられています。

参考図書：「日本の野生植物 本木Ⅰ」（佐竹義輔他編、1989年、平凡社）

「朝日百科 植物の世界 第5巻」（岩槻邦男他監修、1997年、朝日新聞社）

「図説 花と樹の事典」（木村陽二郎監修、植物文化研究会編、2005年、柏書房）

「博物館」を意味する英語Museumの語源であり、喜びを表すmuse(ギリシャ語)と通信や手紙を意味するLetter(英語)からMuseLetterと名付けました。

## 連載 豊平川に眠る人魚 ⑩

### サンディエゴ自然史博物館

私の研修先であるサンディエゴ自然史博物館はカリフォルニア州の最南端、人口122万人の街の博物館です。博物館は市の中心部から歩いて30分ほどのところに広がる緑豊かなバルボア公園内にあり、この公園には自然史博物館のほかに世界的にも有名なサンディエゴ動物園をはじめ、美術館、科学館、植物園などの博物館群が立ち並んでいます。自然史博物館は街の建設がはじまって間もない1874年に開館し、改築、増築を繰り返しながら130年以上の歴史をもちます。現在の建物は1933年に建設されたものですが、そこに違和感なくモダンなガラス張りの新館が増築され、2005年には新館の展示工事の真最中でした。

まさに永年の活動の成果が反映され、成長発展する博物館を実践する博物館として、国内外でその活動が高く評価されています。

私は20年ほど前から自然史博物館の古生物学者トム・デメレと交流があり、アメリカでは心安い友人の一人でした。彼は私の研修の目的やサッポロカイギュウの重要性について十分に理解していました。その証拠に私が

彼を訪ねたときには、私のために用意された大きな机の上に研修資料やスケジュール表、そして、いつでも自由に館に出入りするのための鍵と収蔵庫のセキュリティーカードまでもが当然のように置かれてあったのです。旅の荷物を解くと、トムはさっそく私を最近発見されたカイギュウ化石の産出地に連れて行き、その地質や年代について、さらにカリフォルニア州全体におけるカイギュウ産出層の特徴についてていねいに説明してくれました。博物館の収蔵庫にはこれまでに集められた膨大な量のカイギュウ化石が収められています。翌日からはそのひとつひとつを確認し、写真撮影、スケッチ、そして産出年代のチェックする作業が私を待っていました。(古沢)

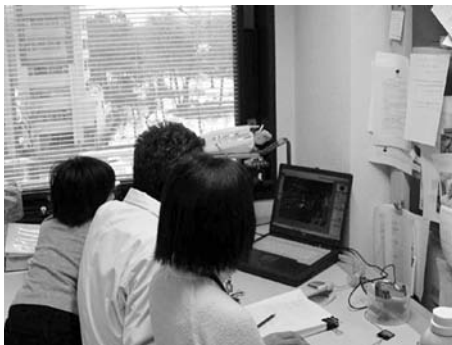


サンディエゴ自然史博物館

### 2006年度自然探求サポート事業

## ただいま、展示 手作り中!

図鑑を使って虫の名前を調べていくのはとても時間がかかりました。化石というと発掘やクリーニングのイメージですが、今回は実験です。さて、結果は…展示でござんください。



自分で撮った化石の写真を展示用にしているところ。



ゲンゴロウの模型をダンボールで作製中。